

MINICON α

FAST RISE & ECO

この度は弊社製品<MINICON α>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。MINICON α は、フューエルインジェクタータイミングを制御することにより、エンジンレスポンス向上、燃費改善を目的としたミニサブコンピューターです。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

※別売エアコンアダプターと組み合わせることにより、加速時の一定時間エアコンコンプレッサーを停止し省エネ運転をおこなうことが可能です。

※すでに当社製品ADIを装着されている車両には取り付け出来ませんのでご了承ください。※その他弊社製品との組み合わせは可能です。

⚠ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 本体は運転の妨げにならない場所に固定して下さい。
- 本製品はインジェクター信号制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす 場合が考えられますので十分慎重に取り扱して下さい。なお何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。

⚠ 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落下させたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。
- 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。
- 配線を這わす時には可動部分は避けて取り付けして下さい。巻き込まれたり引っ張られたりしてハーネスが断線しないように注意して下さい。

【MINICONα の機能と特徴】

- MINICONα の独自回路により、インジェクタータイミングを変化させ、エンジンフィーリング向上が可能です。
*特にアクセル開度約30%～よりのエンジンフィーリングが向上します。
- カプラーオンの取り付けが可能です。
- 本体横のスイッチを切り替えることにより、モードを簡単に切り替えることが出来ます。

【MINICONα の取り付け作業の注意】



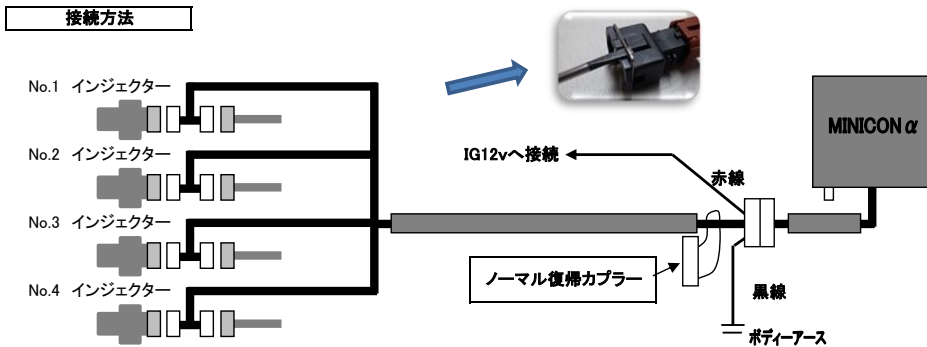
- 取り付け作業は**エンジンキーを抜いてから約5分以上経過してから**おこなって下さい。
→完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業をおこなった場合、エンジンチェックが点灯してしまいます。
→フューエルインジェクター周りは高温になっている場合があります。温度が低くなってから作業をおこなって下さい。
- 取り付け作業は**バッテリーをはずさず**におこなって下さい。
→ECUの学習がリセットされ、エンジン不調他の症状が発生する可能性があります。
- 本体の取り付けは高温、水のかかりやすい場所を避け、取り付け向きに注意して固定して下さい。

【付属品】

- 両面テープ×1枚 ● エレクトロタップ×1 ● タイラップ×4

【取り付け方法】

- MINICONα はエンジンルーム内のフューエルインジェクターに接続します。インジェクターの位置を確認してから作業をおこなって下さい。



- ①エンジンが低温になってから、エンジンルームのフューエルインジェクターカプラーを抜いて下さい。
●インジェクターのカプラーは、針状の部品にてロックがかかっています。マイナスドライバーとラジオペンチを使用し、慎重に作業をおこなって下さい。
- ②MINICONα のカプラーに貼ってある番号とインジェクターの番号を合わせながらMINICONα のカプラーを割り込み接続して下さい。
●車両インジェクターに番号表示はありません。エンジンのファンベルトが装着されている側がNo.1インジェクターになります。
●インジェクターのカプラーは熱等により非常に抜きづらくなっている場合があります。その場合はラジオペンチ等を使用し丁寧にカプラーを抜いて下さい。
- ③MINICONα の赤線はIG12vに接続して下さい。
●エンジンルーム内にてIG12vをテスターで確認し、MINICONα の赤線を接続して下さい。
*ランサーエボリューション1～9型はエンジンルーム内バルクヘッド側にあるインジェクター抵抗線より12vの取り出しが可能です(下記画像)



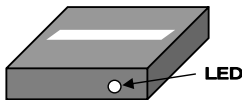
- ④MINICONα の黒線を実際にボディアースして下さい。



- ⑤MINICONα のハーネスはエンジン駆動部分、高温部分を避けて配線の引き直しをおこなって下さい。

【作動確認方法】

- 本体が正常に働いているかMINICONα 本体横のLEDの状態とエンジンの吹け上がりにて確認して下さい。
* 確認作業は安全な場所でおこなって下さい。



- ① イグニッションキーをONにするとLEDは点灯します。
- ② エンジンが正常に吹け上がればOKです。エンジンが正常に吹け上がらない場合は、エンジンを停止させ配線接続等を見直して下さい。
* 最近の車両では、停止時の空吹かしを行った場合3000rpm〜にて回転リミッターが働く車両があります。このことを考慮し、確認をおこなって下さい。

【本体固定方法】

- ① MINICONα 本体を両面テープにより確実に固定して下さい。
 - 本体をエンジンルームに固定する場合は、熱、水の影響の受けない場所を選んで固定させて下さい
 - エキゾースト付近や、直接エンジン上に固定するのは絶対に避けて下さい。



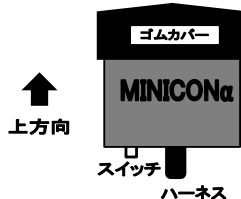
注意:

- 配線はファンベルト等に干渉しないようにし、点火系、インジェクター系、アンプ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
- 本体をエンジンルームに固定する場合は、本体に付属のゴムカバーを被せて下さい。
必ずゴムカバー側を上方向に向け、固定して下さい。



注意:

- MINICONα ハーネスの延長はトラブルのもとになります。絶対におこなわないで下さい。



重要:

MINICONα ハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。使用中にエンジン不調が発生した場合新品と交換する事を推奨いたします

【設定方法】



- MINICONα は本体横の切り替えスイッチにより下記の3段階の切り替えが出来ます。品番によりスイッチの役割が異なります。
* 本体裏側の品番シールを確認して下さい。

MODE 1	中高回転域のトルク感UPを狙ったモードです。アクセルを開け気味の運転時に大きな効果を生みます。
MODE N	ノーマルモードです。
MODE 2	アイドリング状態より制御を入れたモードです。低速域のフィーリングがモード1と異なります。

【ノーマル復帰方法】

- 方がー、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、ノーマル状態へ戻して走行して下さい。



ノーマル復帰ケーブル

- 本体横のスイッチにて<N>の位置へレバーを倒して下さい。
- 症状が改善されない場合はMINICONα 本体より6極ケーブルを抜き、ノーマル復帰ケーブルへ差し替えて下さい。
- ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は？
* 全てのハーネスを抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。
* 完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICONα の制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

【トラブルチェック】



警告 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し1〜2分後にMINICONα をノーマル状態にして再始動させて下さい。

<アイドリング不調>

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

<エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない>

- ハーネスの挿入方向を再確認して下さい。

<点灯したチェックランプを消す方法>

- 正常な状態で、<エンジン始動>⇔<1分間エンジン停止>を3〜5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断し、エンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時は、カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。